

博物館・歴史資料館だより

郷土・揖斐川町に伝わる「祭り」や「踊り」の情報をお寄せください!

現在、町教育委員会では、「揖斐川町の祭り・踊り調査事業」をすすめています。

往古よりこの地域に住む人々は大自然に潜む神秘さを崇拜し、森や水を大切にして暮らしてきました。その崇拜の心と日常生活が結びつき、「雨乞い踊り」や「山の講」として、町内の各地域に伝承されています。

これらの「祭り」や「踊り」を調査し情報を取りまとめることによつて、歴史と文化の町の特性を醸成するとともに、「ふるさと教育」の柱にしたいと考えています。

この事業推進のため、次のように情報を調査・収集します。

調査対象 地域に伝わる祭りや踊り

また、近年行われはじめた新しい祭り

調査者

揖斐川地区 林一成調査委員、

該当地区学校教職員

春日・久瀬地区 杉山秀峰調査委員、

該当地区学校教職員

谷汲・藤橋・坂内地区

竹中昭文調査委員

(主務者)

該当地区学校教職員

その他の地区 寺田昭士調査委員

情報活用

収集した情報は郷土読本としてまとめ、生涯学習や学校教育、また観光資源として活用します。

※調査委員が各地区を訪れてまわりますので、ご協力をお願いします。

【お問合せ先】揖斐川町教育委員会
社会教育課 TEL 56-3200

※この事業は岐阜県からの補助金を受けて実施するものです。



川上ほおろ踊り

9月の展示案内

森の木工・写真展

春日 森の文化博物館

森の文化博物館では、自然を題材にした木工・写真展を開催します。

木工の部には、町の木であるケヤキに彫られた魚、ナツツバキ(娑羅)やエンジュに彫られたニワトリやフクロウなど「丸山・菊地工房」の方々

が趣向を凝らした作品を展示します。とくに、木材が水分を吸い上げる効果を活かし制作された作品など春日の人でなくては作れない作品です。

写真の部は、四季折々の春日の自然や春日の人々の暮らしを春日内外の方々撮影された作品を展示します。

・展示期間は9月末日まで。ご鑑賞にお出かけください。

【お問合せ先】

揖斐川町春日美東
森の文化博物館

TEL 58-3111

◆水曜休館



森の木工展

揖斐川の鮎の歴史と文芸

歴史と文芸

揖斐川歴史民俗資料館

10月30日(日)まで

資料館企画展示室

江戸期の揖斐川は、旗本岡田氏が治水をはじめ、舟運・魚漁などの管理と保護に努めました。とくに、築は「運上築」として厳しく保護されました。明治以降、揖斐川の築を訪れる歌人や画家も多くいました。明治三十八年初秋に長塚節が揖斐川の鮎築に立ち寄り、詠んだ二首の歌があります。

揖斐川の築落つる水は たぎつ瀬と
とどろに砕け 川の瀬に落つ

(城台山公園文学の里に歌碑あり)

揖斐川は鮎の名どころ 揖斐人の
大氣かけて 秋の瀬に持つ

歌人でもあり、小説家でもある長塚節は竹林栽培研究のために、西美濃を訪れており、養老公園にも歌碑があります。

【お問合せ先】

揖斐川町上南方901の5

揖斐川歴史民俗資料館

TEL 22-5373

◆月曜日休館